歌集『仰日』の著者に

宫本百合子

きか たり S 即していて、 独自です。そこにない ちの婦人であるかということや、 糸のようです。 そこに独特のい いう工合になります。 を生活的 たしました。 か わ 過 わたくしは れました。 日 たくしは、 しているところの歌は、 いのあることなどが、しみじみと感じとられます。 『仰日』 に立体化して感受し、 決して生活の歌ほどの独自性に立っていないということは、 一人の読者として うたわれている妻なるひとが、どんなにまめやかであり、 ならびに『檜の影』 仰 小説をかく者ですから、 つくしみ合いをもって生きつつある歌の数々は、 父をうたい祖母を語り、 日 を拝 生活の歌はほとんどすべて率直であって、 あわされて来る自然鑑賞では、 見して、 世間 日々の生活の描写にまじえて、 仰日』 独特の夫妻としてのつながりのうちに、 のどの歌人もふれ得ない境地に立っていると感じました。 会からお手紙を頂き重ねてあなたからのお手紙拝見い 短歌については素人ですが一つ二つ感想を申 におさめられている多くの生活の歌に 故郷の生活について描いて来た作者が、 『仰日』をはじから拝見しながらも、 作者がアララギの格調というものに 夫婦が、 自然鑑賞の歌をうけとると その瞬間 たすけあって畑 仰 H まことに興味あ 微妙な情愛の をつらぬく紅 の真実に立って 自然なこころも つよく心を 往 つかそれ 妻を得て、 一ます。 事をし Ŵ

た。

す。

るところだと感じました。 うたれます。 アララギの枠の中での しか しあるものはどんな条件で生活するどんな人でも一定の感覚と技法 ある作は、 でよめる作品であるというのも少なくないように思えま 生活の歌にある生の感覚の独自さとぴったりし

それ から芸術的に言って、 最も戒心のいるのは、 アララギ流の儀礼による作歌の場合で

の意義 課題がひそんでいると感じます。 ると思わ この三つの点を相互に縫 の故に、 れますが、 その ١, 歩みを制約する流派としての諸問題が、 か がなものでしょうか。 って流れているものの間に、 現代は、 アララギがかつて現代短歌史にわけ こんにちのアララギ歌人すべての 見なおされる時期に入ってい もっ た 積 極

歌され 完成 しかし緊密であるというのは、 生きゆく思い 仰 したのでは意 つつあると信じます。それは格調の緊密なアララギにひかれるのもよくわ の作 岩の の痛切なことは、 味がないと思います。 みならず、 わたくしたちは、 歌のこころ、 言葉をつくせず、 まして 歌の世界がひしとうち出されてのことであっ 散文・ 『檜の影』 それだからこそ、 短歌何によらず、 の同人でいられ 存在 その道での常套で 0 る方 あ か 々 か کے の ります。 御 T 生活、 作

格調を整える) 語 彙 というもの、 用語法というもの、 ましては型であってはつ

まりません。

力が希わ

れます。

新し 短歌 い真実と実感がもられるように、 は日本の民族がもって来た文学のジャンルですから、それを破壊するより、 歌壇の下らない宗匠気風にしみないみなさまの御努 そこに

え得ませんでした。ここに古風なギルドがあります。 をもっておられるというのでしょう。 とつい努力する危険があります。 登龍のむずかしいアララギ派に云々とかかれている方のお言葉を拝見して、 『檜 の影』のどのお一人が、どんな流派に属する人生苦 枠にはまった流派の完成に近づこう 感想をおさ

何 かのお役に立つならば幸であると存じます。 率直ですこし荒っぽいかもしれないわたしの感想が、 散文をかくものからの感想として

す。 でしょうか。 中 よろしくおつたえ下さい。夫人はどんな本をおこのみでしょうか。 -野重治 たくしはふとっていて、作品を通しての夫人はほっそりと小柄なお方のように思えま 0) お 『斎藤茂吉ノオト』をおもちでしょうか。 ハガキ頂きませば『仰日』の御礼のこころとしてお送りいたしますが 窪川鶴次郎の『短歌論』をおもち ました。入力、校正、制作にあたったのは、

青空文庫情報

底本:「宮本百合子全集 第十三巻」新日本出版社

1979(昭和54)年11月20日初版発行

1986(昭和61)年3月20日第5刷発行

底本の親本:「宮本百合子全集(第十一巻」河出書房

1952(昭和27)年5月発行

初出:「新日本歌人」

1951 (昭和26) 年2月号

入力:柴田卓治

校正:米田進

2003年4月23日作成

青空文庫作成ファイル:

このファイルは、インターネットの図書館、 青空文庫(http://www.aozora.gr.jp/)で作られ

ボランティアの皆さんです。

歌集『仰日』の著者に

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL http://www.aozora.gr.jp/

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL http://aozora.xisang.top/

BiliBili https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks 青空文庫 威沙